

株主の皆さんへ



2

株主通信
2010年
春号

株主の皆さんにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当期(2009年4月～2010年3月)は、2008年秋の金融危機の影響により消費の低迷、投資抑制などが進行したことから、当社を取り巻く事業環境も厳しい状況となりました。

当社は、このような環境の激変を一過性の景気減速と受けとめた対応策に終始するのではなく、世の中が大きく変わろうとする転換点と認識し、さらに自らの価値を高めるチャンスとして捉えました。そして、当社グループの今後より強い成長につなげることを目指した経営指針として「経営方針<09-10>」をスタートさせました。

この経営方針は、①企業体質改革の実行、②強い成長の実現、③風土改革の3点を骨子としており、当期は、売上成長が見込めない厳しい事業環境でも確実にフリー・キャッシュ・フローの創出が可能な企業体質への変革に注力しました。企業体質の改革の中でも特に、拠点や人員の適正化など固定費の削減を徹底し、損益分岐点の引き下げに努めた結果、当期のフリー・キャッシュ・フローは前期を大きく上回る729億円となりました。損益面では、景気減速の影響を免れることはできず、売上高は前期比15.1%減の8,044億円、営業利益は同21.8%減の439億円にとどまりましたが、主要事業の回復、特に当期後半に入ってからは情報機器事業がけん引して、3四半期連続で増益となり、グループ業績は回復基調を取り戻しています。

2010年も先行きは引き続き不透明な状況ですが、当社は企業体質改革を継続すると同時に、力強い成長に向けた施策を強力に推進していきます。

今後とも一層のご支援・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

2010年5月

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 **松崎 正年**